

## IV-2. Discussion Paper Series

平成 20 年度に発行したディスカッション・ペーパーは以下の 5 編です。

### **No.114 田中幹大:インタビュー調査:戦後復興期大阪における自転車部品製造業者・問屋の経営活動(4月)**

(インターネット上での概要の公開なし)

### **No.115 飯田浩志:Partition のある風景(6月)**

概要：本稿では、Partition からの reduction によって近似率を導出した事例を三つ、紹介するとともに、それら事例をもとに、若干の考察を加える。

### **No.116 Chisato Shibayama & Yasunori Ishii: Multiproduct Firms and Dumping(7月)**

概要：In this paper, we first develop a model of an international oligopolistic Cournot industry in which firms trade core goods and their incompatible accessories. We then examine some issues concerned with dumping. We find that such firms set the core goods price below cost (below-cost dumping, henceforth) even under perfect competition. We also find that firms might simultaneously engage in both price-discriminating dumping in the market for accessories and below-cost dumping in the market for core goods. Furthermore, we demonstrate that antidumping tariffs on both core goods and accessories may expand the dumping margin in the accessories market.

### **No.117 小田福男:モスクワの低層住宅団地開発-2つのケース(3月)**

概要：筆者は、2008年3月下旬に1週間ほどの日程でロシアのモスクワを訪問した。その際、モスクワでの低層住宅団地開発に関して見聞を広め、資料を収集した。本稿のねらいは、そのようなモスクワ調査に基づいて、ロシアおよびモスクワの住宅建設の全体的動向を紹介し、モスクワの低層住宅団地開発の2つのケース(「クニャジエ・オーゼラ」、 「スモールモスクワ」)を紹介・検討することである。

なお、<補遺>として、筆者が2006年7月25日に日ロ北海道極東研究学会で行った報告の原稿を添付している。それは、ロシア極東の低層住宅建築の動向を分析したものである。

## No.118 飯田浩志:整数ナップサックの周期性について (3月)

概要 : 2009 年に Hu, Landa and Shing による整数ナップサック問題に関するサーベイ論文が公刊された。ここでは, そこで言及された最適解の周期性について, 特に, 周期のはじまりを指示する重量制限の大きさへの上界ふたつについて, もう少し掘り下げてみたい。